

# こども食堂を身近なものにしたい

## —3つの方法で地域の意識を変える—

研究者 2年6組27番 新村紗矢  
2年3組16番 澁谷美空  
2年5組28番 星野一花

### 1. 研究目的

近年、報道番組などで取り上げられ、知名度が高まっている「こども食堂」。しかし、自分の暮らす地域について、どのくらい正しい知識をもっているだろうか。私たちは、支援を必要とする人の居場所づくりや子どもの居場所を守るために、運営する大人だけでなく、中高生がこども食堂について正しく知ることが必要であると考察する。

このことから、他県の活動調査や取材を通して、支援を必要としている人が気兼ねなくこども食堂に参加できるようにするために中高生ができる有効な普及方法を考察する。

### 2. 現状(先行研究の分析)

湯浅 誠 論文「こども食堂の過去・現在・未来」より(一部抜粋)

こども食堂は、「貧困家庭の子供を集めて食事させるところ」「子供の貧困対策として始まったが、近年では地域交流拠点としての性格も併せ持つようになった」と認識されることが多い。しかし実際は初めから「地域交流点」と「子供の貧困対策」の両方を併せ持っており、「どなたでも来てどうぞ」とオープン型な運営スタイルであった。

しかし2013年頃、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が制定される。翌2014年に政府の大綱が策定され、全国各地で対策が実施段階に入った時、マスメディアはどんな対策があるか探した。その時に、こども食堂が見つかり、必然的に「子どもの貧困対策として行われている」という形容句をつけて説明された。こうして、こども食堂＝貧困家庭の子供を集めて食事させる場所、という認識が生まれ、一部で反発を呼んだ。この誤認が続けばこども食堂が広がるのは阻害されてしまう。これを防ぐため、私(湯浅さん)は全国ツアーを企画・実施し、こども食堂の理解を広げた。

### 3. 研究方法(研究手法)

- ①全国の子ども食堂の充足率をインターネットで調査し、充足率の高い県が行っている活動を考察する。
- ②長野県の子ども食堂の充足率をインターネットで調査し、長野県が行なっている活動を考察する。
- ③考察した内容を基に質問を考え、訪問取材(社会福祉協議会、市役所、こども食堂)に行く。

- ④高校生がこども食堂のためにできることを考察する。

### 4. 結果・考察

#### ①全国の充足率上位の県の活動

充足率・・・求人数に対する充足された求人の割合  
こども食堂フェスタ(滋賀)

滋賀県長寿福祉センターでこども食堂普及啓発のために、子どもの笑顔はぐくみプロジェクトのスポンサーや子ども食堂運営者などが一堂に会するフェスタを開催した。

#### とっとり子どもの居場所ネットワーク”えんたく”(鳥取)

- ・子どもの居場所(子ども食堂)の開設を手伝う。
- ・現在運営してる子どもの居場所(子ども食堂)をサポート。
- ・その他子どもの居場所に関することの相談を承る。

#### ○考察

- ・充足率の高い県は子ども食堂単体の支援や活動が行われている。
- ・充足率の違いは、1つの小学校区に対して子ども食堂の数の割合である。そのため、充足率が高くても、困っている人が多く助かっているということ、また、普及率が高いことではない。
- ・大事なことは多くの人に知ってもらおうということである。

#### ②長野県内の取り組みと充足率

##### 長野県の充足率

長野県のこども食堂の充足率はおよそ31%。  
これは全国の充足率の平均(22.18%)を上回っており  
全国でも上位10位に入っている。

##### 信州こどもカフェ

こども食堂では、食事提供や学習支援など、様々な子どもの居場所づくりの取り組みを行っている。県では、こども食堂を「信州こどもカフェ」と愛称で呼び、その活動を支援したり設置を推進したりしている。

また、この活動を応援するための組織(市町村や支援団体など多様な団体)を、「信州こどもカフェ推進プラットフォーム」といい、県内の10圏域に構築・運営されている。(10圏域→佐久、上田、諏訪、上伊那、南信州、木曽、松本、北アルプス、長野、北信)

#### ○考察

- ・長野県でもこども食堂への充実した支援は行われてい

る。また、長野県の充足率は全国でも高い方である。これらから、特に充足率が高い県との違いは無いと考える。

・①でも考察されたが、充足率が高くても普及率が高いという訳では無い。長野県も数と増加率はむしろ低い方である。どうしたら数が増えていくかを考えていく必要がある。

### ③取材の内容

#### 子ども食堂を支援する機関への取材

・千曲市役所子ども未来課 係長 小林様

Q子ども食堂に対して、どのような支援をされているのですか？

A現在は経済的補助のみを行なっています。

Q子ども食堂にはどのような意義があると思いますか？

A異世代が顔見知りになることで、地域全体で家庭の問題に気付くことができると考えます。

Q私たち高校生にできることはありますか？

A**学習支援ボランティア**として参加することが可能です。

Qこれからの子ども食堂について、どのように考えていますか？

A**市内の各学校区に1つずつ**出来ると良いですね。地域の輪が広まれば、食料支援などにも繋がりますね。

・千曲市社会福祉協議会 高橋様

Q現在、社会福祉協議会ではどのような支援をされているのですか？

A健康づくりや移動式のお買い物会など、高齢者の方に向けた支援が多いです。

Q社会福祉協議会で行っている「フードバンク」とはどのような活動ですか？

A企業などから食材を提供していただき、必要とする家庭に渡します。野菜や未開封の食料品の他、お弁当に組み合わせて渡すこともあります。

Q私たち高校生にできることはありますか？

A**ボランティア参加や、食料支援**などにより関わるができます。

Qこれからの子ども食堂について、どのように考えていますか？

A子どもだけでなく、**地域全体の見守りの場**が増えて欲しいですね。

#### 子ども食堂を実際に運営する方への取材

・かみとくま食堂 瀬在様、スタッフ様

Q食堂の内容について教えてください。

A学習支援や食事提供の他、アクセサリ作りなど楽しめるイベントを行っています。

Qなぜ子ども食堂を始めたのですか？

Aいつでも子ども達が集まれる場所を作りたいと考えていたからです。

Qこれからの子ども食堂についてどのように考えていますか？

A**各小学校区に1つずつ**できることが理想です。趣味で始める人がもっと増えてほしいですね。

・バーチャランチの会 笠井様

Q子ども食堂の充足率を上げるためにどのようなことが必要だと思いますか？

A屋代小学校にチラシを配っています。

Qなぜ子ども食堂を始めたのですか？

Aやりたい人が何人も周りに居て、一緒に出来ると思ったからです。

また、「命の大切さ」を子ども達に伝えたいと考えていました。

Q何か県から補助は受けていますか？

A県の社会福祉協議会から3年間の補助金を貰っています。

市の社会福祉協議会からは赤い羽共同募金による支援を受けています。

Q運営していて、課題はありますか？

A親子連れが多いことです。子どもだけで来られるようにしたいですが、ボランティアを増やさなければならぬため出来ていません。

Qこれからの活動について、どんなことを考えていますか？

A**本当に困っている人、一歩踏み出せない人への支援**をしたいです。現在はチラシを配布しているだけなので、本当に困っている人のみへの支援が出来ていません。

#### ○取材を通して分かったこと

・**食堂の数を増やし、地域の見守りの場**となることを望む声が挙げられた。

・食料品や開催費用は県や社会福祉協議会からの支援により賄われていることが分かった。

・高校生が関わる方法は学習支援が主であることを生かし、私たちの周りの人だけでなく**将来教育の分野に関わりたいと考えている人**に参加を促すことで高校生がボランティアスタッフとして参加してもらえるの

ではないかと考察した。

## 5. 私たちの提案

私たちはこれまでの研究から、以下の3つのことを提案する。

- ・屋代高校1, 2年生と附属中学生を対象にボランティアを募り、こども食堂で学習支援や工作をこども達と一緒にやる。そして、参加したボランティアにアンケートを実施し、今後ボランティアを続けていく為に必要なことを考える。
- ・アルミ缶、ベルマークを屋代高校、屋代駅、屋代南高校で集め、換金し、研究の為に費用にする。
- ・より多くの人に活動を知ってもらう為にポスターやチラシ制作を行う。

### (1) こども食堂学生ボランティア活動

取材から、「多世代交流の場所に」「地域の輪を広めたい」というこども食堂に対する考えを知った。高校生がこども食堂に関わることができるのは学習支援ボランティアである。このことを知り、実際に行動している人はどのくらいいるだろうか。私たちは、食堂を訪れる子どもと運営する大人の架け橋になれるのではないかと考える。また、子どもたちのために工作や簡単な遊びを考え進行するなど、運営に関わり体験することで、新しい知識を得ることができる。この経験により、今の子どもたちの居場所を守るだけでなく、私たちが大人になったとき、子どもたちが安心して安全に暮らせる地域作りにも繋がるのではないだろうか。

この理由から、校内でボランティアを募り、こども食堂へ参加し企画を実施することを提案する。ボランティア募集方法は、対象のクラスと副校長室前に募集ポスターを掲示し、クラスルームでも募集を行った。私たちはかみとくま食堂様にご協力いただき、冬休み期間を利用して実際にボランティア活動を行った。実施に先立ち、12月22日にボランティア参加者に向けて説明会を開いた。

## 実施報告

12月28日 ボランティア参加者4名

実施内容 大掃除、ケーキ作り、方言かるた

- ・大掃除は、上徳館を掃除した。高校生ボランティアが子ども達と一緒に、窓を掃除する姿が見られた。
- ・ケーキ作りでは、土台となる部分を高校生、大学生ボランティアが作り、子ども達がクリームや苺を自分好みに飾り付けをした。
- ・お昼はカレーをいただいた。
- ・方言かるたでは、慣れない言葉が多いながらも必死

に取り札を探したり、取った札を読んだりなど、昔ながらの地域の文化に触れられた。

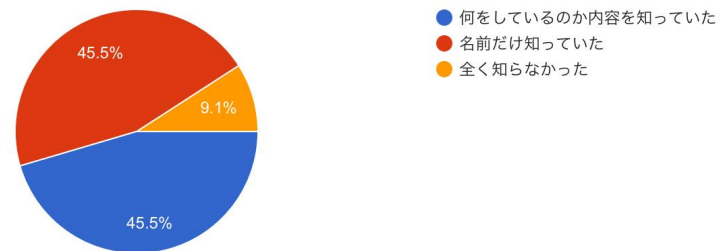
・子ども達だけでなく、大学生、大人のボランティアの方々とも交流ができた。

1月4日 ボランティア参加者7名

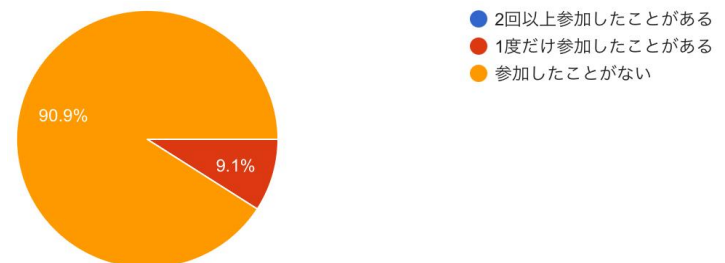
実施内容 学習支援(習字)、新年隠し芸披露

- ・午前中は主に小学校の課題となっている習字をみんなで行った。教える側もそれを聞いて書く側も全員熱心に取り組んでいた。
- ・お昼は、ラーメン、またはうどんをいただいた。
- ・新年隠し芸披露では、マジックなどをみんなで見て、とても楽しい時間を過ごせた。
- ・お茶を目の前で立ててくださり、飲み方などを教えていただきながら飲んだ。また、美味しいお菓子もいただいた。

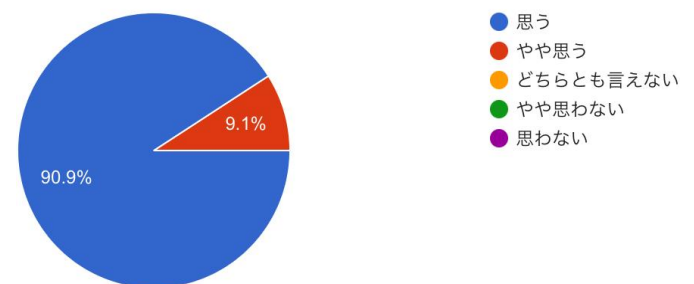
○「こども食堂」という取り組みを以前から知っていたか



○こども食堂に参加したことはあるか



○また参加したいと思うか



○感想・要望など

- ・地域で交流でき、親も安心して預けられる場所なのがいいと思った。もっと広まって欲しい。
- ・最近小学生と触れ合う機会が減っていたから久し

ぶりに話したり遊んだりしてすごく元気をもらった。また作業も一人でやるより話しながらやると楽しくて時間があっという間だった。小学生の子達も嬉しそうに話したのを見て、もっとこのような交流の場があればいいなと思った。

- ・ポスターを見て、行きたいと思った。こども食堂は「親が良くない人の可哀想な子供が来る」イメージだったけど、どんな子供でも行っている場所だと知った。素敵な経験ができてとても良かった。
- ・子供たちと体を動かしたりケーキを食べたり、とても楽しかった。いい経験になった。
- ・最初は仲良くなれるか不安だったが、最後には一緒にバタバタと遊べるくらい仲良くなれて安心した。子供と触れ合う機会がそれほど多くないのでこのような機会がありとても嬉しかった。
- ・こども食堂については以前から知っていたので、今回参加出来てよかった。子供たちとの交流は楽しかったし、悩んでる子供達のためになったな、と貴重な体験ができた。またあれば参加したい。

実施時の様子



○活動を通して

- ・参加してくれた生徒の半数以上がこども食堂で何を行っているか知らない中で参加してくれた。参加することで偏見や間違った認識から、正しく知ってもらえたと思うので嬉しい。
- ・最初は高校生も子どもも緊張した様子で接していたが、途中からかなり打ち解けて親しく話す姿が見られてよかった。
- ・子どもとの交流だけでなく、子ども食堂を運営する地域のボランティアの方々との交流にもなった。
- ・子ども食堂の方々は皆さんは優しく、とても温かい場所であると感じた。
- ・子供と触れ合うことやボランティアが好きなので、今回このような企画を実施できて良かったと思う。他のボランティアの人たちや子供たちも笑顔になって嬉しかった。
- ・今回の企画が好評であったため、春休みにも実施するための準備を進めていく。また、この交流企画を来年度も続けていってほしい。

**みんなで行こう！  
こども食堂！**

私たちと一緒に、こども食堂のボランティアスタッフをしてみませんか？ 将来教員や保育士希望の人、こどもが好きな人、誰でも大歓迎です！

○場所  
がみとくま食堂・上徳館  
住所：千曲市上徳間1643

○日時・主な内容  
2022年12月28日：掃除手伝い・方言かるた  
2023年1月4日：学習支援(習字をします！)  
・両日共に10時～16時まで(出入りOK！)  
・沢山こども達と遊ぶので動きやすい格好で！  
・当日朝に健康チェックを行います。

○持ち物  
マスク、水筒、お昼ごはん(子ども食堂で提供していただけます！)

○申込方法 申込期限12月20日(火)  
右のQRコードを読み、フォームに必要事項を記入して下さい。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から先着3名程度とし、募集人数を満了したらフォームを締め切らせていただきます。

支援者：がみとくま食堂様・千曲市社会福祉協議会様

執筆者：2学年課題探究グループ  
2年6組新村紗矢・2年3組澁谷美空・2年5組星野一花

不明な点がありましたら遠慮なくご質問下さい！

2022年12月28日、2023年1月4日実施分のポスター

(2) ポスター・チラシの掲示、配布

現状、こども食堂は千曲市内に5つしかない。この事実を広め、少しでも多くの方に興味をもってもらえるように市内でチラシを配布する。こども食堂の名前だけでなく会場や時間を示すことで、より市内に食堂の存在をアピール出来る。

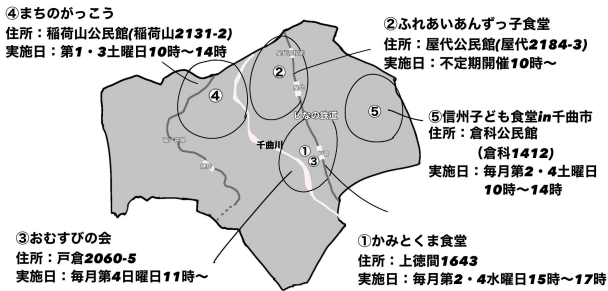
チラシには市内のこども食堂の位置を千曲市の地図と共に載せ、実施日を記した。



2023年1月27日(金)屋代駅にて65枚配布を行った。

## 千曲市のこども食堂を知ろう！

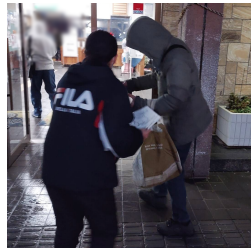
みなさんはこども食堂を知っていますか？こども食堂とは、地域住民や自治体が主体となり、無料または低価格で子どもたちへ食事を提供するコミュニティの場です。長野県千曲市にある5つのこども食堂を紹介します！



※地図は大体の位置なので正確な位置ではありません

引用参考文献：gooddoマガジン <https://gooddo.jp/magazine/>  
製作者：長野県立屋代高等学校2学年課題探究 こども食堂普及グループ

作成したチラシ



実施の様子

### ○活動を通して

- ・最初は中々チラシを受け取ってもらえず不安だったが、諦めずに声をかけ続けた結果多くの方にチラシを受け取ってもらうことができ、とても嬉しかった。
- ・チラシに興味を持って立ち止まって話を聞いてくださる方がいた。
- ・今回は屋代駅での実施だったが、他の駅でのチラシ配布も予定している。

### (3)市内のリサイクル活動

こども食堂に行くことや寄付をすること以外の誰でも関わりやすい支援方法として、市内でリサイクル活動を行うことを提案する。しかし、実施について課題がある。

課題として以下のことを挙げる。

アルミ缶等洗っても匂いが残るものを回収する場合、公共交通機関を使用する学生が参加し難いこと。簡単な捨てるという選択ではなく、参加するという選択をしてもらうための告知方法。これらの課題を解決し、実際に実施できるようにしたい。

## 6. 今後の課題

取材や調査に時間が掛かってしまい、自分たちの提案を実施するのが遅くなってしまった。

今回はかみとくま食堂様のみでのボランティア活動だったので、この活動を継続し、他の食堂でも実施して更に多くの方に興味をもってもらいたい。

また、参加できない方や他校の方にも活動を知ってもらうことが必要だと思う。

この3つの活動を通して、今までよりもこども食堂について正しい知識をもってもらい、地域住民が互いに助け合い暮らしていける千曲市を目指す。

## 7. 引用・参考文献

weblio辞典

<https://www.weblio.jp/content/充足率>

子ども食堂全国箇所数調査2020結果発表のお知らせ

<https://musubie.org/news/2898/>

滋賀県ホームページ

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kosodatekyouiku/kosodate/309474.html>

鳥取の居場所ネットワーク”えんたく”

<https://mirai.roukyou.gr.jp/tottori-children-future-support-network/introduction.html>

長野県ホームページ

<https://www.pref.nagano.lg.jp/jisedai/hitorioya/ibasyohome.html>

特集論文 こども食堂の過去・現在・未来

<https://musubie.org/wp/wp-content/uploads/2019/08/%E6%B9%AF%E6%B5%85%E8%AA%A0-%E8%AB%96%E6%96%87%E3%80%8C%E3%81%93%E3%81%A9%E3%82%82%E9%A3%9F%E5%A0%82%E3%81%AE%E9%81%8E%E5%8E%BB%E3%83%BB%E7%8F%BE%E5%9C%A8%E3%83%BB%E6%9C%AA%E6%9D%A5%E3%80%8D.pdf>

gooddoマガジン

[https://gooddohttps://gooddo.jp/magazine/poverty/children\\_proverty/children\\_cafeteria/.jp/magazine/poverty/children\\_proverty/children\\_cafeteria/](https://gooddohttps://gooddo.jp/magazine/poverty/children_proverty/children_cafeteria/.jp/magazine/poverty/children_proverty/children_cafeteria/)

## 8. 謝辞

千曲市役所 こども未来課 小林様

千曲市社会福祉協議会 高橋様 宮坂様

かみとくま食堂 瀬在様 スタッフの皆様 こどもたち

バーチャランチの会 笠井様

まちのがっこう様 福井様

おむすびの会様

労協ながの東北信事業本部 廣瀬様

しなの鉄道 屋代駅 駅員の皆様

しなの鉄道 戸倉駅 駅員の皆様

ボランティア活動に参加して下さった生徒の皆様

チラシを受け取って下さった皆様

指導担当 増野将之先生

この探究活動に関わっていただいた全ての方に心より感謝  
申し上げます。